

東京都港区（平成27年10月21日作成）

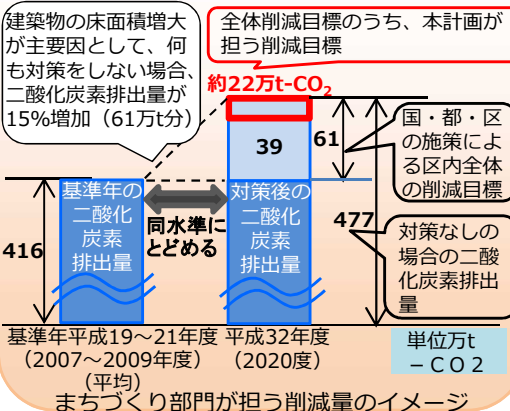
- 本計画は、温暖化対策全般に関する計画である「港区地球温暖化対策地域推進計画（平成25年3月）」と整合を図るものであり、この推進計画におけるまちづくりに係る内容を踏襲して策定している。
- 本計画では、目指すべきまちの将来像の実現に向けた基本方針に基づく3つの施策「エネルギーの効率的利用の促進」、「緑の保全・創出とヒートアイランド対策の推進」、「環境に配慮した交通環境の整備」について目標達成のために必要な具体的施策を位置付けていく。

■低炭素まちづくりの将来像

人にやさしく かがやくまち
環境都心 みなと

■計画の目標

平成32年度のCO₂排出量に対して港区のまちづくり部門で約22万t減少させる



■計画区域及び計画期間

計画区域：港区全域
計画期間：平成27～32年度
（平成29年度に見直し）

■基本方針

- 1. 活発な経済活動と環境配慮の両立**
将来にわたって地域活力が持続的に維持・向上していくまち
協働による
事業者 区民 区
- 2. 快適で潤いある都心部の形成**
豊かな緑にあふれた快適で潤いのある都心部
- 3. 環境負荷の少ない交通環境の実現**
住み、働き、訪れる人々にとって便利で快適なまち

■目標を達成するための具体的施策

基本方針1 先進技術の導入による、活発な経済活動と環境配慮の両立

◆施策1 エネルギーの効率的利用の促進

二酸化炭素排出量を大きく削減するために必要となる、環境に配慮したライフスタイル・ビジネススタイルを支える取組を実施

導入施策

- 「港区民間建築物低炭素化促進制度」による個々の建築物の省エネの推進
- エネルギーの面的管理・利用の促進
- 新エネルギー、省エネルギー機器等設置の促進
- 低炭素化に資する建築物に対する認定制度等の運用

基本方針2 臨海部から丘陵まで豊かな緑が繋がる、快適で潤いある都心部の形成

◆施策2 緑の保全・創出とヒートアイランド対策の推進

温室効果ガス削減の取組に加え、国産材の使用促進による二酸化炭素吸収源の維持など、広域的な取組の効果増大を目指す。

導入施策

- 大規模開発の機会をとらえた緑のネットワークの形成の誘導
- 緑のカーテンプロジェクトの推進
- 遮熱性舗装等の推進
- 東京湾の海風を都市に取り込むための風の道の確保

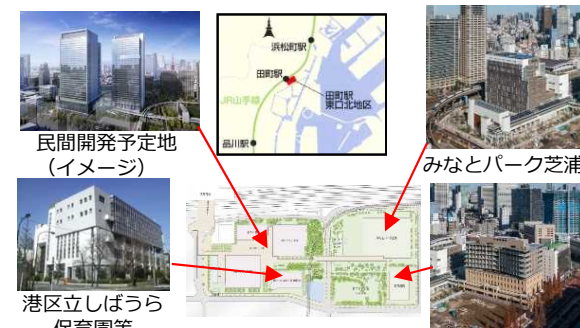
基本方針3 利便性の高い公共交通網を活かした、環境負荷の少ない交通環境の実現

◆施策3 環境に配慮した交通環境の整備

コミュニティバスや自転車の利用や電気自動車の普及を促進し、二酸化炭素の排出量を減らしつつ、子どもや高齢者、障害を持つ人々にとっても快適に移動できるまちを目指す。

導入施策

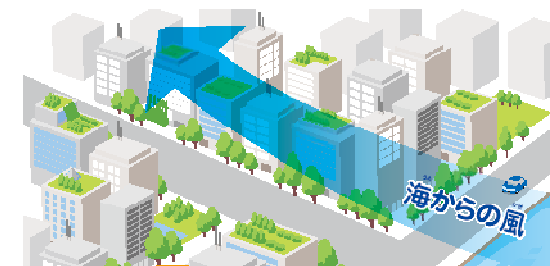
- 港区コミュニティバス「ちいばす」・台場シャトルバス「お台場レインボーバス」の運営・運行と利用促進
- 自転車利用環境の整備（自転車走行空間整備、自転車シェアリング実証実験）
- 駐車場の設置に関する配慮や駐車場の集約
- カーシェアリング制度の普及促進



エネルギー面的利用の例：田町駅東北地区の取組
出典：東京ガス(株) 提供資料



緑のネットワークのイメージ



風の道の確保イメージ図



自転車シェアリングポート

カーシェアリング